

設 立 趣 旨 書

1 趣旨

ベトナムでは多くの人々が貧困のために病院に行くことができず、白内障や網膜剥離等により視力を失っており、病院にて治療してもらうにも、手遅れになってから来院することもしばしばである。これらの中には適切な治療や手術をすれば失明から免れる患者がたくさんいる。

私たちアジア失明予防の会は、ベトナムのみならずアジア全体において失明の危機に瀕している患者を1人でも多く救えるよう、医療機器の援助、医師の派遣、医師の教育指導、貧困により失明している人々に対する治療の支援などを目的に設立する。

2 申請に至るまでの経過

静岡県在中の眼科医服部匡志が、現地の眼科医の要望を受け、平成14年より私財を投じてタイ、ベトナムなどで貧困者に対する眼科治療や現地の医師などに対し技術指導をボランティアで行ってきた。その活動をさらに発展的、安定的なものにするため、平成15年10月には京都府立医科大学を中心に「NGOアジア失明予防の会」を設立させ、医師の派遣、医療器具・設備の援助、眼科医療の技術指導、貧困者に対する治療支援などを行ってきた。

今回のNPO法人設立は、法人格を有し活動することによって、世間にこの活動を広く認知してもらい、また社会的責務を果たすことができると、申請するに至った。

平成17年2月24日

特定非営利活動法人 アジア失明予防の会

設立（代表）者 大阪市阿倍野区北畠1丁目3番11号

氏名 木下 茂